

何を学ぶべきか(その2)

2023. 4. 2 (日)

まず、学習の目的をしっかりと見据えること

なんのために勉強するかというと、最終的には、志望校に合格するためです。だからといって、いきなり入試問題を学べ、というわけではありません。

入試問題は、基礎知識を組み合わせて解きます。
組み合わせるべき基礎知識をもっていなければ、入試問題は解けません。
では、何が基礎知識なのか。
これは、日々学校で習う学習内容です。
具体例を分析した資料があるので紹介しましょう。→ [Link | Essay_028](#) |

しかし、基礎を身につける学習を、最初に紹介した学習方法で勉強していたのでは、自分はどんな知識を習得したのか、あるいはどんな知識がまだ理解できていないのかを具体的に押さえることはできません。
ただ、課題だからやっただけの”作業”にしかありません。
基礎を学んでいないわけですから、応用問題や入試問題を解く力が育たないことは自明の理といえます。不思議でもなんでもない、当然ということです。

日々の学習は、学習する内容を具体的に設定して、積み上げていなければなりません。

学習内容を具体的に設定すること

■何を学ぶか(学習内容の設定)

数専ゼミでは、そういう目的意識の中で、
たとえば、方程式については、次のような具体的な学習内容を設定して学習させます。
→ [Link | 方程式「学習計画書」](#) |

■どのように学ぶか(学習の記録をつけ、解けないを解けるにする)

また、単に問題を解かせて終わり、ではなく、
解けなかった問題については、自分の力だけで解けるようになるまで、繰り返し練習させます。
解けるようにしてはじめて、次のステップへ進ませます。

これらの学習のプロセスは「学習計画書」に記録されていきます。
この「学習計画書」を見ると、設定した学習内容に対して、
どの問題が解けて、どの問題がまだ解けていないかが、一目で分かります。
だから、これを見れば、今何を勉強すればいいのかが分かります。
しかも、勉強すべき教材(問題)も「学習計画書」の中で指定されています。

このような学習＝評価システムで指導している塾は数専ゼミの他にはどこにもありません。オリジナル教材とコンピュータの評価プログラムを作れない塾では、このようなシステムを作れないからです。

成績が上がらないただひとつの原因

しかし、このようなシステムで勉強しても成績が上がらない人もおります。その人は、例外なく、「学習計画書」に示された学習の指示にしたがって勉強していません。日々の学習の中で積み上げてきた自分の学力の到達点に関する”科学的な”データをすべて捨ててしまっている、ということです。何のために、塾の授業料を払ってきたのかわかりません。

学習計画はフコが設計します

単元内の問題の選択と学習順序の設定などは、生徒が自分でやることは無理です。また、指導経験の浅い先生でも無理です。数学の全体のしくみとか流れ、および入試の出題内容と傾向を知り尽くした先生だけができる技術です。

数専ゼミは50年間数学を教え続けてきました。生徒に学習させる問題もすべて自分のところで作成してきました。何をどの順序で学習することがその単元を征服することであるか、入試に合格する学力を手に入れることができるかについて、”実戦的に”分かっています。だから、数専ゼミの塾生には、数専ゼミの開発した学習計画に沿って学習させます。

宿題指導は”おまけ”

授業では、お金をとって宿題指導などという“安っぽい”教育はしません。宿題指導は、FAXやスマホを使って、授業外に、無料でおこなっております。

学習する内容を”具体的”に決めて学習を積み上げる！

数専ゼミ・山形東原教室

〒990-0034 山形市東原町二丁目10番8号

TEL: (023)633-1086 / FAX: (023)633-1094

メールアドレス: suusen@seagreen.ocn.ne.jp